

いたばしのかんきょう



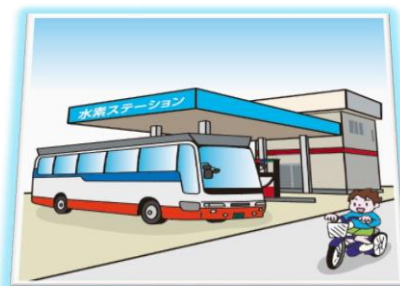
板橋区

ねん じっげん 2025年までに実現し

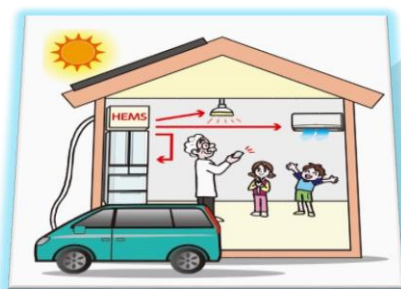
舞台は2025年、夏の板橋区。

夏休みの宿題で板橋区の環境について調べて発表することになった2015年生まれの小学4年生、すまとくとみらいちゃんが、板橋の環境に詳しいエコポリ博士といっしょにまちを見て回りながら板橋の環境を学んでいるようです。

みなさんも、すまとくん・みらいちゃん・エコポリ博士といっしょに、2025年の板橋のすがたをのぞいてみましょう！



じてんしゃ 自転車シェアや公共交通など環境に
こうきょうこうつう かんきょう
やさしい交通手段が利用されています



スマートハウスやゼロエネルギービルが
ふきゅう 普及しています



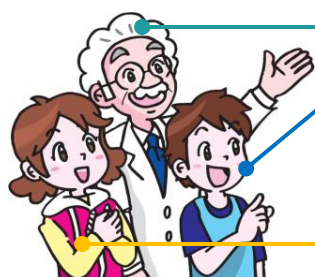
しょうずみ 使用済のモノの多くは資源化や
おお しげん か
はいいつ 回収され、ごみの排出が減っています



はかう 量り売りなど、ごみになるものを
か 売らない・買わないことが普及しています



おおくみん 多くの区民、団体、事業者が環境活動に参加し、
かんきょうかつどう かん
かつぱつ きょうどう こうりゆう おこな 活発な協働や交流が行われています



すまと

2015年生まれの10歳（小学4年生）。
ちちはは にんぐ 父母と3人暮らしで、家ではごみ分別係を担当。

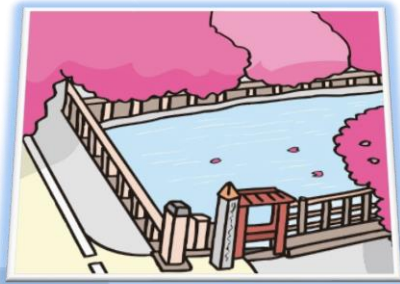
エコポリ博士

1955年生まれの70歳。板橋区に生まれ育ち、
区の環境の事なら何でも知っている物知り博士。

みらい

2015年生まれの10歳で、すまとくんの同級生。
花や緑が大好きで、緑のカーテンを育てている。

いたばし かんきょう たい板橋の環境のすがた



しぜん れきし ちょうわ ほうちてんしゃ
自然や歴史と調和しごみや放置自転車のな
いきれいなまちがひろがっています



かんきょう くるま ふきゅう くうき
環境にやさしい車が普及し、空気が
きれいですみよいまちになっています



まち みどり みず せいかつ うるお あた
街なかの緑と水が生活に潤いを与え、
生き物のすみかにもなっています



ゆうすい じゅりんち しぜん ほぜん
湧水や樹林地などの自然が保全され、
多くの区民が自然とふれあっています



イーエスディー じぞくかのう かいはつ きょういく
ESD(持続可能な開発のための教育)の
かんがえのもと がっこう
考えの下、学校やエコポリスセンターなどで
おおくの区民がかんきょう
多くの区民が環境について学んでいます



だれ かんきょう かんしん
誰もが環境に関心を持ち、
かんきょうじょうほう にゆうしゅ はっしん
環境情報の入手や発信をしています

2025 年の「低炭素社会」

2025年の夏、すまとくんとみらいちゃんは、板橋区いたばし かんきょうの環境について教えてもらうため、環境のことを何でも知っているまちの物知りおじさんおし(エコポリ博士)の家をたずねました。



ぼくたち、夏休みの宿題で「板橋いたばしの環境かんきょう」について調べて発表はつひょうすることになったんです。板橋区いたばし かんきょうのことはエコポリ博士がよく知っていると聞いたので、教えてください。よろしくおねがいします。

さっそくだけど、すまとくんとみらいちゃんが、板橋区いたばし かんきょうの環境について、最近勉強さいきんべんきょうしたことはなにかな？



このまえ、授業でスマートシティについて教わったんですがむずかしくて・・・

スマートシティは、情報通信技術じょうほうつうしんぎじゅつを使ってエネルギーを効率的こうりつてきに利用することや、安心安全あんしんあんぜんな便利でむだのない暮らしが実現じつげんしたかしこいまちのことだよ。



ちょっとむずかしいなあ・・・身近なところでスマートシティの考え方が取り入れられたものってありますか？

そうだなあ、わたしが住んでいるこの家は「スマートハウス」といって、スマートシティの考え方がつまっているよ。例えば、生活に必要なエネルギーは自然エネルギーを利用し、なるべく石油や石炭などの化石燃料にたよらないようにしているんだ。あそこにあるモニターを見てごらん。



「昨日の太陽光発電量は30kwhで、すべての電気使用量の150%をまかないました」と、「電気自動車の充電が完了しました」というメッセージがでてい

わ



これはね、HEMSへむすといって、使っているエネルギー、創つくっているエネルギー、たくわえているエネルギーの状態を確認できたり、家電を効率的に使用できるようにコントロールしてくれたりしてくれるものなんだ。それにね、このHEMSには見守り機能がついて、電気の使われ方がふだんとちがうときに、わたしの息子夫婦にれんらくがいくようになってい



エネルギーをかしこく使いながら、安心して生活することができるのね。スマートシティの例ってHEMSのほかにもあるのかしら・・・？

たとえば、窓からオフィスビルが見えるよね。あのビルは、エネルギー消費量をおさながらも快適に過ごせるようになっているよ。あのビルに限らず、近くの工場が出した熱を複数の建物で利用したり、自然エネルギーを利用した発電システムを導入したりして、化石燃料などから得られるエネルギー消費量をゼロにする建物が増えているよ。このあと、近くの自転車シェアリングステーションで自転車を借りて、まちなかを見て回ることにしよう！



3人は、エコポリ博士の家を出て自転車シェアリングステーションに向かって歩いています



今日もすごく暑いわね……。最高気温が40℃をこえる猛暑になるそうよ。

こういう日は特に熱中症になりやすいから気をつけないといけないよ。わたしが子どものころと比べると、真夏日（最高気温が30℃以上）や熱帯夜（最低気温が25℃以上）になる日が増えたこともあって、熱中症になる人が多くなってしまったんだ。あ、あの店が板橋区のクールシェアスポットだから、ちょっと休んでいこうか。



クールシェアスポットは、自由に入ってすずめる場所なんだよね。暑いときにみんなですずしい場所に集まることで節電対策になったり、熱中症予防にも役立ったりしているのよね。



緑のカーテンも育てられていて、見た目もすずしげで気持ちがいいね。

クールシェアスポットの情報はインターネットで公開されていて、割引などの特典やイベント情報もしょうかいしているよ。



楽しく快適に過ごしながら、まち全体で使うエネルギーの節約にも役立ってる。

3人は自転車に乗り、大きな通りを走っています

あそこに水素ステーションがあるね。水素自動車や電気自動車は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックで選手の移動などに使われていたんだよ。



ぼくの住んでいるマンションでは、住んでいる人たちで水素自動車・電気自動車・自転車をシェアリングするしくみがあるんだ。

いまはそういうマンションが多いようだね。きみが生まれたころと比べると、自転車シェアリングもカーシェアリングもずいぶん増えてきたよ。

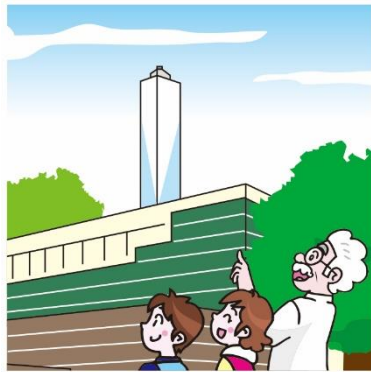


2025 年の「循環型社会」

じてんしゃはし おお たてもの み
自転車^{じてんしゃ}で走^{はし}っていると大きな建^{おお}物^{たてもの}が見^みえてきました



あ、ここは板橋清掃工場^{いたばしせいそうこうじょう}だね。学校^{がっこう}の授業^{じゆぎょう}で見学^{けんがく}に来たことがあるよ。あそこ
にごみ収集車^{しゅうしゅうしや}が並んでいるね。



あのごみ収集車^{しゅうしゅうしや}は電気自動車^{でんきじどうしや}で、
災害時^{さいがいじ}に非常電源^{ひじょうでんげん}としても利用できる
んだ。この清掃工場^{せいそうこうじょう}では、ごみの
焼却^{しょうきやく}によって発生^{はっせい}する熱エネルギー^{ねつ}
を利用^{りよう}した発電^{はつでん}がされていて、ごみ
収集車^{しゅうしゅうしや}はその電気^{でんき}を充電^{じゅうでん}して動いて
いるんだ。

ところで、すまとくんは、家でごみを
減らすための取り組み^{とくみ}を何かしている
のかな？



はい、家でごみ分別^{ぶんべつ}の係^{かかり}をしています。「かたつむりのおやくそく」を
合言葉^{あいことば}に、ごみの減量^{げんりょう}やりサイクルするために資源^{しげん}ごみを分別^{ぶんべつ}するのがぼく
の役目^{やくめ}なんです。かたつむりの「か」は「かたづけじょうず」、「た」は「た
いせつにつかう」です！

そうだね。「たいせつにつかう」には、修理^{しゅうり}して長持ち^{ながもち}させることだけじゃなく
て、自分^{じぶん}では使わなくなった物^{もの}を他の人^{ほかひと}にゆずって使^{つか}ってもらふことも含
まれるよ。フリーマーケットなども今^{いま}ではあちこちで見かけるようになった
から、すまとくんも家族^{かぞく}皆^{みな}で一度^{いちど}、参加^{さんか}してみるといいよ。



次の「つ」は「つかいきる」、「む」は「むだにしない」だよ。お母さん^{かあ}から買^か
い物^{もの}の手伝い^{てつだい}を頼^{たの}まれたときには、マイバッグを持^もっていきようにしてレジ
袋^{ぶくろ}はもらわないようにしているんだ。



わたしもお気に入りのマイバッグ^{か もの}で買い物^{かいもの}するけど、最近^{さいきん}は、商店街^{しょうてんがい}やスーパ
ーでも量り売り^{はかりうり}やばら売り^{うり}をする店^{みせ}が増えていると店^{みせ}の人^{ひと}が言ってたよ。
食^{しょく}品^{ひん}トレイ^たや食^{しょく}べ残^{のこ}しを減^へらせるし、よいことだね。



さいご
最後「り」は「リサイクル」だね。しげん
資源ごみをだすときにはただ
ぶんべつ
正しく分別すること
がたいせつ
大切なんだよ。

さすがはごみ分別係、^{ぶんべつがかり}「かたつむりのおやくそく」を^{りかい}理解しているね！
すまとくんが生まれる前は、資源ごみといえば、ビン・缶・ペットボトル・
新聞・雑誌・段ボールくらいだったけど、今は雑誌がみやプラスチックも資源
ごみとして回収するようになったんだ。また、不燃ごみとして回収した
金属類は、^{しんぞく}処理施設で^{しゅりしせつ}素材ごとにバラバラにされて資源化されているんだ
ト



へえ、^{いたばしく}板橋区のごみの量^{りょう}
が、ぼくらが生まれる前と比
べて減ったことは学校で教わ
ったけど、いろんな取り組み
が進められてきた結果なんで
すね。でも、生ごみはそのま
ま燃やすごみとして捨てるし
かないんですよ……



すまと、知らなかったの？ 生ごみも堆肥化してリサイクルすることができる
のよ。わたしのうちでは生ごみを堆肥化して緑のカーテンを育てるのに使っ
ているよ。

それだけじゃないぞ、最近では、生ごみを発酵させて発生するメタンガス
を利用したバイオマス発電事業に向けた検討が始まっているんだ。



へえ、むかしは燃やすごみとして捨てるだけだった生ごみも、資源として
有効活用されているんだね。

かたつむりのおやくそくとは…

^{いたばしく}板橋区では、3 R（リデュース、リユース、リサ
イクル）の^{かんが}考え方をさらに^{はってん}発展、^{かくだい}拡大させた「か
たつむりのおやくそく」を^{あいことば}合言葉に「^{いたばし}板橋かたつ
むり運動」を展開しています。ごみ減量キャラ
クター「かたつむりん」と一緒に、^{いっしょ}できることから
すこ
少しずつ“無駄”をなくしましょう。



2025 年の「自然環境」

せいそうこうじょう 清掃工場をあとにした3人は、大きな木のある家の前を通りかかりました



この木、すごく大きいけどなんという名前の木ですか？

これは、ケヤキといって「板橋区の木」に指定されている木だよ。こうやって見て回ると、街なかにも大きな木が大切に残されているのがわかるよね。



板橋区の緑って、むかしと比べて減っているんですか？



わたしが子どもの頃は、宅地開発が進んで街なかの緑がどんどん減っていたんだ。でもその後は、緑地の保全や緑化がなされたりして緑の減少は緩やかになり、少しずつだけど回復に向かっているんだ。



緑を守るための取り組みが進んできて、緑が増えていそうですね！

落葉や日あたりの問題から、古くからある貴重な木が切られてしまうこともあったんだ。そういったなか、地域ぐるみで緑を守ろうとする人たちが、自分たちの住んでいる地域をすみずみまで歩いて身近な緑や生き物を調べて記録する取り組みを始めたんだよ。今では、いろいろな地域で取り組まれているよ。



地域の人たちの力で、身近な緑や生き物が守られているんだなあ！

活動している人に話を聞くと、活動団体どうしや一般の区民の人たちが活動内容について情報を共有できるしくみができたりして、以前よりも取り組みやすい環境になったそうだよ。



しばらくすると志村城山公園が見えてきました



ここに書いてある「地域がつくる公園制度」ってなんですか？

板橋区と地域住民が、お互いの役割を決めて一緒に公園を管理するためのしくみのことなんだ。すまとくんらが生まれた頃は、30箇所ほどの公園で取り組まれていたんだけど、今はさらに増えてきているんだ。





さっきの緑もそうだけど、身近な公園を地域のみんなで大切にしているんです。

そうだね。公園が地域の人たちの交流の場となったり、地域の人が見守っていることで子どもたちの安全にもつながったりしているんだよ。そんな公園に魅力を感じて、近くの家に住むことを決める人もいるみたいで、環境の取り組みがまちの魅力アップになっているようだね。



あ、ここに湧水が流れているよ。冷たくて気持ちいいや。たしか、崖の上に降った雨が地面にしみ込んで崖の下から流れ出ているんですよね？



そのとおり！ 水温は1年を通じて変わらないから、夏は冷たく、冬は温かいんだ。わたしが子どもの頃と比べると、コンクリートやアスファルト舗装が増えて雨水がしみ込む土の面積が減ったから、湧水を見かけることは少なくなったね。でも、この公園のほかに、板橋区にはまだたくさんの湧水が残されているんだよ。



そうなんですか！ 今から20年前くらいに湧水を守るためのルールができて、雨を地面にしみ込ませるための取り組みが進められているんですよね。

ところで、きみたちは板橋区に流れている川のことは知っているかな？



石神井川なら知っていますよ。あそこは、すごく桜がきれいだから、毎年、家族でお花見に行ってるんです。

板橋区には石神井川のほかに、荒川と新河岸川と白子川が流れているんだ。わたしが子どもの頃は、今では想像もつかないだろうけど、水がにごっていて、いまみたいにきれいではなかったんだよ。



石神井川には魚が泳いでいたり、鳥の姿を見かけたりするし・・・きれいじゃなかったなんて信じられないなあ。

魚が泳ぐきれいな川になるまでには、下水道が整備されたことのほかに、家庭で出る油やみそ汁を排水口に流さないようにしたり、水切り袋を使い細かい生ゴミを直接下水に流さないようにしたりする家庭が増えたんだと思うよ。普段の生活の中での取り組みがとても大事なんだ。今日はここまでにして続きはまた今度にしよう。



2025 年の「生活環境」

ある日、3人は、板橋本町にあるYUMEパーク・大和町に集合しました



今日はここ、大和町交差点からスタートしよう。ここは、3つの道路が立体に交差していて、都内でも有数の自動車交通量があるところなんだ。今から30年くらい前には、大気汚染物質濃度が全国ワーストワンになったこともあったんだ。



そんなに空気が汚れていたなんて信じられないなあ……。どうしてそんなに空気が汚れていたんですか？

空をおおように高速道路が交差しているから、空気が流れにくく自動車の排気ガスが溜まりやすい構造なんだ。でも、区と地域住民による国や東京都への働きかけによって大気環境改善のための対策がとられたり、自動車の排気ガスを規制するルールがつくられたりして、大気環境はずいぶんよくなったんだ。



その話、わたしも聞いたことがあります。昔、この待ち合わせ場所には建物があったんだけど、排気ガスが停滞しないようにオープンスペース化されてYUMEパーク・大和町ができたんですね。

3人は、石神井川沿いの住宅地を歩いています



なんだかこのあたりは、道路沿いに花や緑が植えられているところが多いね。

そうだね、このあたりは落ち着いたまちなみがつくられているんだ。……。おや、向こうからこの近くに住む私の知り合いが歩いてくるよ。彼は、このあたりのまちなみを守る取り組みについて詳しいから話を聞いてみようか。

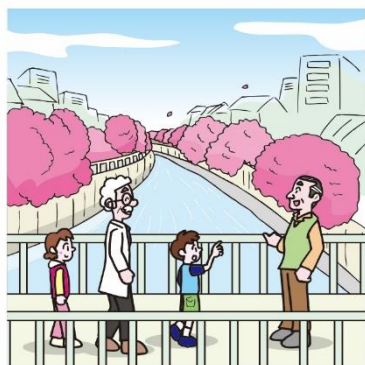


すまくとんとみらいちゃん、こんにちは。よく見てごらん。建物の色を温かみのあるものに統一したり、高い建物を道路から離して圧迫感を減らしたりしているよね。これらが落ち着いたまちなみをつくりだしているんだ。このあたりの地域では、石神井川の緑と調和した景観づくりのために、石神井川沿いの桜並木や緑道に配慮して庭木を植えたり、敷地の狭いところでは、家の周りにプランターを置いて、身近なところから緑を育てたりしているんだ。





ちいきに^すひと^とたち^とみんな^とで^と組^とみ^とを^と進^とめ^とて^とい^とる^とん^とで^とす^とか^と？



そうだよ。「景観形成重点地区」といって、まちの景観をよくするためにどうしたらよいか住民どうしが話し合っ
て、建物の建て方などについてのルールを決めているんだよ。美しい景観は、ここに暮らす人たちに地域への愛着と誇りを感じさせてくれるんだ。こうした取り組みは、ここ10年くらいで増えてきているんだ。



この地域に限らず、自転車の放置や、ごみのポイ捨て、喫煙ルールについてもここ最近では問題になることもなくなったね。



こういう取り組みがどんどん広がっていくといいね！

かわそ川沿いをしばらく歩いた3人は住宅地に入っていました



わたしが住んでいる家の周りにはあまり見かけないけど、このあたりには住宅地のなかに工場があるのね・・・。

板橋区は工業の発展とともに歩んできたまちで、今でもまちなかに多くの工場が残っていて、製造品出荷額は23区の中でも上位なんだ。わたしが生まれた頃は、今よりたくさんの工場が立ち、環境を守るためのルールづくりが追いつかなくて、煙突からは煙がモクモク、川も汚れて悪臭がひどく、公害問題に悩まされていたんだ。



そんな状態だったなんて信じられないなあ・・・。

その後は、公害関係の法令がつけられたり、工場の自主的な取り組みが進んだりして、状況は改善されていったんだよ。また、工場の人たちも地域の行事に積極的に参加したりして、住民とのコミュニケーションを大切にしているよ。こうして、住民と工場が共存できているのは、とてもよいことだね。



2025 年の「環境人材の育成」

歩いていくとエコポリスセンターが見えてきました



あ、エコポリスセンターが見えてきた！

エコポリスセンターを知っているのかい？



はい、学校の授業で来たことがあるし、こどもエコクラブに参加している友達に誘われて遊びに行ったり、家族でイベントに参加したりしたこともありますよ。



わたしは、エコポリスセンターから発信される環境メールに登録していますよ。ほら、こんなふうに、環境のイベント情報やいろんな環境活動のダイジェスト版が届くんですよ。

わたしも登録しているよ。板橋で活動している環境団体へのインタビュー形式の環境コラムも面白いぞ。ちょうど次号で、わたしがメンバーとして参加している団体が掲載される予定だから、ぜひ見てほしいな。



3人はエコポリスセンターに入りました

すまとくん、みらいちゃん、こんにちは！ 今日はエコポリ博士も一緒なんだ



この前、学校に出前講座で来てくれたお姉さんだ、こんにちは！
ぼくたち、夏休みの宿題で「板橋の環境」について調べて発表することになって、博士と一緒に街なかを見て回りながら勉強しています。

そうなんだ。それじゃあ、エコポリスセンターにある環境情報ネットワークを紹介するね。このネットワークを通じて、エコポリスセンターに環境に関するあらゆる情報が集まってくるようになっているんだ。



たとえば、このあいだの出前講座で教わった「春に見つかる区内の生き物」についても環境情報ネットワークが使われているんですか？

そうだよ、区内で活動する調査員さんや団体の人から、ネットワークを通じて、見つけた生き物の情報を送ってもらったんだ。この情報が、生き物観察会に活用されたり、生き物を保全する活動にも使われたりもしているよ。





めには見えないけど、インターネットを使って環境情報を自由にやりとりできるしくみができているのね！

子どもの成長に合わせた環境教育を進めるために、学校での授業などで使える体験的に学べるプログラムをまとめた「環境教育プログラム」が板橋区にはあるんだけど、こういう教材にもみんなから提供された情報が使われているんだ。



エコポリスセンターでは、環境に関心のある人や団体、事業者の人たちを登録するしくみがあって、学校や地域で「環境教育プログラム」を受けたいと思っている人との橋渡し役もしているんだよ。じつは、わたしも小学校の時に出席講座や「環境教育プログラム」で板橋の環境のことを学んでいたんだよ。



子どものときに環境について学んだお姉さんが、成長して、次世代のぼくらへ環境のことを教えてくれているんだね。



今日は「夏休みエコスクール」をやっているから、ちょっと覗いてみない？今日はね、廃材を使った工作教室を、企業の人に協力してやってもらっているんだ。



どの講座もすごく人気があるとうわさで聞いてたけど、なんだか楽しそう！



この講座もエコポリスセンターの人たちが教えているんですか？



企業の人のほかにも、区内で活動している環境団体の人や学生の人にも講師になってもらっているよ。



最近では、幅広い年齢層の区民や環境団体、事業者の方たちが色々な企画を持ち寄って環境学習協働講座をやっているんだ。地域の人たちの専門力やアイデアを活かした講座だね。



この講座を受講した人が、今度は講師になって戻ってきてくれたりして、少しずつ活動の輪が広がっているんだよ。

・・・あ、そろそろ、環境団体との人との打合せがあるから行かなきゃいけないんだ。また、いつでも遊びにきてね！



2025 年の「パートナーシップ」

エコポリスセンターをあとにした3人は公園の前を通りかかりました



あその公園にたくさんの人が集まって、何か観察しているみたいだけど何しているのかな・・・？



あの人たちは、公園や緑の多くある場所で生き物を観察したり、まちの緑などを観察しているグループだね。ちょっとお邪魔して話を聞いてみようか？



こんにちは、きみたちは板橋の環境について勉強しているんだね。ぼくらは、街なかにある樹木などの緑を歩きながらみんなで観察したり、語り合いながら緑の大切さについて再認識する活動をしているんだ。



みなさん、こういった方々が参加しているグループなんですか？

エコポリスセンターの呼びかけで集まったメンバーなんだけど、企業にお勤めの方や学生も多く参加しているよ。



エコポリスセンターの講座がきっかけで参加した仲間が集まってグループ活動になることもよく聞くね。エコポリスセンターのおねえさんも言ってたよね。



なんだか楽しそうな活動ですね！ お兄さんたちのグループのほかにも、いろいろな活動をしているグループがあるんですか？



そうだね、例えば、ぼくらのように街なかや公園の緑や生き物を観察したり、守ったりするグループや、リユース・リサイクルについて実践するグループ、環境教育や環境学習を自主的に行ったり、学校の先生たちのお手伝いをしているグループもあるなあ・・・。ひとくちに「環境」といってもいろいろなテーマがあるし、活動するグループもまたいろいろ





ほかのグループのこともよく知っているんですね。グループどうしの交流^{こうりゅう}があったりするんですか？

ふだんはそれぞれ活動^{かつどう}しているけど、エコポリスセンターを中心^{ちゅうしん}に環境活動^{かんきようかつどう}グループどうしのネットワークがあって、定期的^{ていきてき}に集まりがあるんだよ。各グループの情報交換^{じようほうこうかん}はもちろん、いくつかのグループがコラボして学習会^{がくしゅうかい}や観察会^{かんさつかい}、イベントを企画^{きかく}することもあるんだ。エコポリ博士^{はかせ}にも、よく協力^{きようりよく}してもらっているよ。



そうだね。たとえば「環境^{かんきよう}なんでも見本市^{みほんいち}」というイベントでは、区内外^{くないがい}の環境団体^{かんきようだんたい}や企業^{きぎょう}がそれぞれ取り組んでいることなどを展示発表^{でんじはつひょう}するんだよ。イベントの企画^{きかく}や参加^{さんか}をつうじて、いろいろな団体^{だんたい}、企業^{きぎょう}、行政^{ぎょうせい}の人たちが交流^{こうりゅう}をふかめているんだよ。



そんなイベントがあるなら行^いってみようかな。みらいちゃん、今度^{こんど}、見^みにいってみようよ！

環境^{かんきよう}についてのイベントやグループの活動^{かつどう}は、エコポリスセンターをはじめ、区内^{くない}のいろいろな場所^{ばしょ}で行^{おこな}われているよ。環境メール^{かんきようめいる}でもひんぱんに案内^{あんない}が配信^{はいしん}されているから、気軽^{きがる}に参加^{さんか}してみるといいよ。ぼくらのグループに興味^{きみ}をもってもらえたら、いつでも来てね！



そうだね、いろいろと参加^{さんか}してみることで、新^{あたら}しい発見^{はっけん}があるだろうし、板橋区^{いたばし}がもっともっと好き^すになると思うよ。



私も、学校^{がっこう}や地域^{ちいき}で環境^{かんきよう}について調べ^{しら}べたりして、環境^{かんきよう}に良いことをもっとやろっと！

エコポリ博士とまちをまわって板橋の環境について勉強した、すまとくんとみらいちゃん。夏休みの宿題であるレポートにまとめることができたのでしょうか・・・
その結果は次ページへ！



ぼくたち、エコポリ博士とまちを歩きながら環境について学んだあと、自分たちでもいろいろ調べて、夏休みの宿題をまとめたよ！

板橋区いたばしの環境かんきょうについて

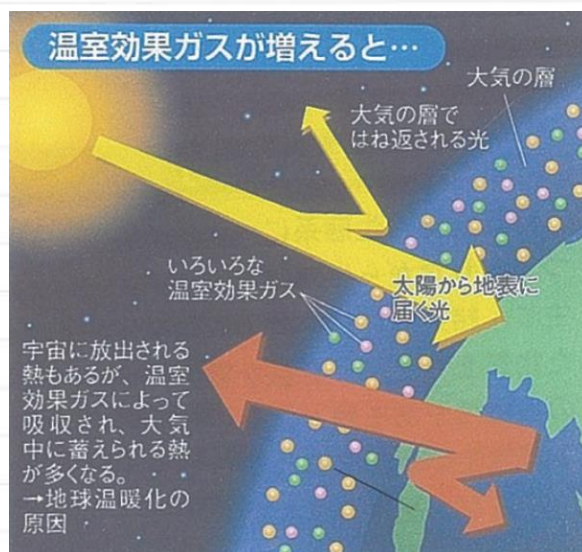
4年1組 すまと・みらい

テーマ：地球温暖化とその影響ちきゅうおんだんか えいきょうについて

○地球温暖化の原因ちきゅうおんだんか げんいん

僕たちが日ごろ使う電気は、石油や石炭などの化石燃料を燃やして発電することで行われますが、燃やすときに二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスが発生します。温室効果ガスは、地面から出る熱を吸収し、宇宙へ逃がさず再び大気に放出します。

温室効果ガスがなければ、地球の平均気温はマイナス 20℃近くになるそうです。温室効果ガスのおかげで生きものが暮らしやすい気候になっています。しかし、化石燃料を使いすぎて温室効果ガスが増えると気候が変化してしまいます。



○地球温暖化による影響ちきゅうおんだんか えいきょう

地球温暖化による影響としては以下のようなものがあると言われています。

- ① 気温の高い日や大雨が増える
- ② 海面上昇により海岸の浸食が進む
- ③ 熱帯地域に住む動物が寒い地域でも見られる など

都市部の場合は、エアコンからの排熱やコンクリートの蓄熱などにより排熱で気温が上がるヒートアイランド現象と合わさって気温上昇が大きくなります。板橋区でも、昔と比べて猛暑日が増えたそうです。

○緩和策と適応策：2つのアプローチによる取り組み

気候変動へのアプローチは大きく2つあります。1つ目は「緩和策」といい、省エネルギーや再生可能エネルギーなど、エネルギー消費を減らし温室効果ガスをなるべく出さない対策です。具体的には、僕がまちで見たHEMSによるエネルギーコントロール、太陽光発電、建物どうしてエネルギーを融通するしくみが挙げられます。

2つ目は、気候変動へによる影響を予測し被害が出ないように対策する「適応策」です。具体的には、熱中症を防ぐためのクールシェアスポットや、集中豪雨対策などが挙げられます。

テーマ：ごみ問題について

○ごみの行方と循環型社会

僕たちが出すごみは、リサイクルできるものはリサイクルされ、残りは焼却場で燃やされ、残った灰などは最終処分場で埋立処分されます。最終処分場の広さには限りがあるため、少しでも長く使えるよう、資源をくり返し使用する「循環型社会」をめざすことが大切です。

○3Rと板橋かたつむり運動

循環型社会をめざすための行動原則を表したものとして「3R」の考え方があります。僕らが知っている「かたつむり運動」は、この3Rの考え方を発展させたものです。

- Reduce（リデュース）.....使う資源の量やごみを減らすこと
- Reuse（リユース）.....ものをくり返し使うこと
- Recycle（リサイクル）.....資源として再び利用すること

テーマ：板橋の緑について

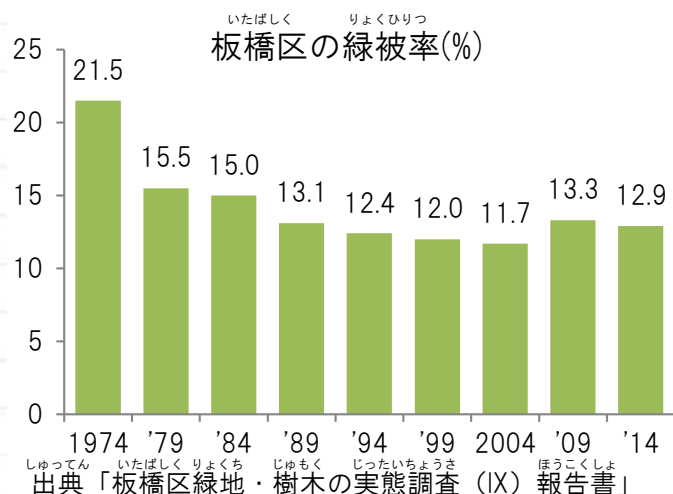
○街路樹や緑のカーテンなどはたらき

まちなかにある緑は、次のようなさまざまなはたらきがあります。

①四季の変化を知らせる	街路樹の緑が紅葉にかわったり、きれいな花を咲かせたりして、季節の変化をしらせてくれます
②いきものの生活の場になる	木の実や葉はエサとなり、巣を作ったりして生活する場所になっています。
③木陰をつくる	大きな枝葉を茂らせる木や緑のカーテンは木陰をつくり、暑い夏にはとても快適です。
③空気をきれいにする	植物や土には大気を浄化する作用があり、空気がきれいになります。

○板橋の緑の量の変化

エコポリ博士が子供のときには、街なかに樹林が今よりもたくさんあったそうです。板橋区の緑被率を調べてみると、昔は20%以上ありましたが、その後2004年頃までは減少し、それ以降は増加していることが分かりました。



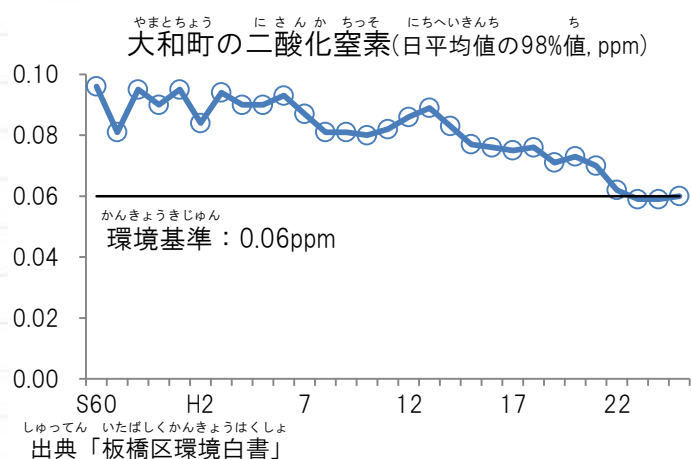
テーマ：板橋の大気環境改善の歴史

板橋区の大気汚染の歴史

板橋区では、産業がどんどん発展していた昭和の時代、空気の汚れがとてもひどかったそうです。空気の汚れの原因は、工場などから出る煙や自動車から出る排気ガスでした。空気の汚れのために呼吸器の病気になる人もいたそうです。その後、大気汚染防止法が定められるなどし、工場などでは公害対策が進み、大気汚染はずいぶんよくなったとのことでした。

大和町交差点の大気汚染

板橋本町にある大和町交差点は、一般国道17号、環状七号線、首都高速5号線という道路が三層に重なっていて、1日の交通量が20万台以上もあります。かつては二酸化窒素が環境基準を上回るなど、空気の汚れがひどい地点でした。その後、オープンスペース化で空気の流れがよくなったことなどにより、大気環境はよくなりました。



テーマ：ESD（持続可能な開発のための教育）

ESD持続可能な開発のための教育とは？

板橋区では、ESD（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）の考えに基づく環境教育が進められています。「国連人間環境会議」（1972年、ストックホルム）で採択された「ストックホルム人間環境宣言」ではESDの重要性が指摘され、その後の「持続可能な開発に関する世界首脳会議」（2002年、ヨハネスブルグ）では、日本が「持続可能な開発のための教育の10年」を提唱しました。

板橋区は、1993年に「エコポリス板橋」環境都市宣言を行い、1995年に環境教育の拠点としてエコポリスセンターを開設しました。僕たちが使っている環境テキスト「未来へ」もESDの考え方に立って作られているそうです。

環境の日の由来

環境基本法では、6月5日を「環境の日」として定めています。これは、「国連人間環境会議」の開催日（6月5日～16日）を記念したものだそうです。世界各国の首脳が集まる国連の会議で、環境や開発を議題としたものは「国連人間環境会議」が最初でした。



いたばしのかんきょう

編集・発行

板橋区環境白書編集会議

板橋区資源環境部環境戦略担当課

〒173-8501 東京都板橋区板橋 2-66-1

TEL 03 (3579) 2622

FAX 03 (3579) 2589

Eメール s-kankyo@city.itabashi.tokyo.jp

平成 30 年 3 月発行